

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月23日

## 【評価実施概要】

|       |  |       |            |
|-------|--|-------|------------|
| 事業所番号 | 4271401558   |       |            |
| 法人名   | 株式会社 日進開発  |       |            |
| 事業所名  | グループホーム くにみの里  |       |            |
| 所在地   | 〒859-1317 長崎県雲仙市国見町多比良戊1449-415<br>(電話) 0957-78-5656 |       |            |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構                        |       |            |
| 所在地   | 〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7217島原商工会議所1階                   |       |            |
| 訪問調査日 | 平成20年12月17日  | 評価確定日 | 平成21年1月19日 |

## 【情報提供票より】(H20年4月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |                    |        |                          |
|-------|--------------------|--------|--------------------------|
| 開設年月日 | 昭和・平成 15 年 3 月 1 日 |        |                          |
| ユニット数 | 1 ユニット             | 利用定員数計 | 9 人                      |
| 職員数   | 7 人                | 常勤     | 6 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 3.6 人 |

### (2) 建物概要

|      |         |       |       |
|------|---------|-------|-------|
| 建物構造 | 木造平屋 造り |       |       |
|      | 1 階建ての  | 1 階 ~ | 1 階部分 |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |            |                |       |
|---------------------|------------|----------------|-------|
| 家賃(平均月額)            | 1日400 円    | その他の経費(月額)     | 実費    |
| 敷金                  | 有( 円)      | (無)            |       |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( 円)      | 有りの場合<br>償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費                | 朝食         | 円              | 昼食 円  |
|                     | 夕食         | 円              | おやつ 円 |
|                     | 又は1日(600)円 |                |       |

### (4) 利用者の概要(4月1日現在)

|       |         |      |      |    |      |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 9 名     | 男性   | 1 名  | 女性 | 8 名  |
| 要介護1  | 3 名     | 要介護2 | 0 名  |    |      |
| 要介護3  | 3 名     | 要介護4 | 3 名  |    |      |
| 要介護5  | 0 名     | 要支援2 | 0 名  |    |      |
| 年齢    | 平均 83 歳 | 最低   | 73 歳 | 最高 | 96 歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |                         |
|---------|-------------------------|
| 協力医療機関名 | 柴田長庚堂・島原保養院・徳永歯科医院・まき歯科 |
|---------|-------------------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然に囲まれた場所に立地している当ホームは敷地内にもう1棟グループホームとデイサービスが建ち並んでいる。敷地も広くとられてあり、玄関先には花が飾られている。ホームの敷地内には犬を飼っており、賑やかな声で迎えられる。畑や庭園はホッと心をなごませる。近くには百花台公園やフラワー公園があり自然に恵まれている。「今日も笑顔で楽しくすごしましょう」をモットーにされ、家族のような関係の思いで、職員と入居者は日々生活されている。11月より施設長が変わられたこともあり、管理者をはじめ職員はホームがより良いホームへとるように改善できればと意欲と期待をもたれている。管理者、職員、入居者は笑顔に溢れ、互いに支え合っで過ごされている姿が窺える。

## 【重点項目への取り組み状況】

|      |   |
|------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)  |
|      | 前回の外部評価では言葉かけについて、勉強会への取り組みや災害対策の面で指摘を受けた項目については改善計画シートを作成され、ケアの見直しを検討されている。職員のチームワークに努め、今後の課題への追究に前向きに努力されている。言葉かけについては、即取り組まれたことによって、現在は改善されている。                  |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)   |
|      | 今回の自己評価の取り組みは職員一人一人が記入されたものを管理者がまとめられた。自己評価に取り組んだことによって、職員が抱えているストレスに気づくことができた。また、改めて日々のケアの見直しの機会になった。  |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)  |
|      | 2ヶ月に1回開催されている。ご家族や運営推進会議のメンバーからは、貴重な意見をいただいているが、議事録を詳細に残されることによって、今後のホームの運営への反映につながるような記録への取り組みに期待したい。また、認知症サポーターの取り組みを足がかりとして市との連携を行う意向を示された。                      |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)  |
|      | 意見箱を設置されているが、意見の投稿はなかなかなく、面会時にお話をしたり、ご家族の希望を考慮して1週間に1度や2週間に1度の頻度で電話連絡を行っている。請求書や便りの送付の際に自由に書けるような「意見書」を同封され、ご家族の意見の吸い上げへの取り組みの工夫を期待したい。                             |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)  |
|      | 年に1回里まつりを開催されており、ボランティアやご家族、地域の方の参加の機会を大切にされている。小学校の運動会や産業祭へ出かけられ、ホームの入居者の方の顔を覚えていただき、地域の方へ協力を仰がれている。今後は介護教室を開催し、地域の方への介護技術や認知症への理解をしてもらえるような取り組みをしていきたいと意欲をもたれている。 |

## 2. 評価結果 (詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

| 外部                    | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | ( 印 ) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                   |
|-----------------------|----|--|---|-------|--|
| <b>. 理念に基づく運営</b>     |    |  |   |       |  |
| 1. 理念と共有              |    |  |   |       |  |
| 1                     | 1  | 地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 会社の基本方針、経営理念、くにみの里の理念、と多く掲げられているが、「今日も笑顔で楽しくすごしましょう」をホームの独自の理念として特に大事にされている。  |       |  |
| 2                     | 2  | 理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 炭坑節調で歌えるように作られており、入居者も一緒に共有できる。体操が終わった後に職員が声に出して、毎日唱和している。  |       |  |
| 2. 地域との支えあい           |    |  |   |       |  |
| 3                     | 5  | 地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 里まつりに参加していただいている。ポスターを貼って、参加を呼びかけられている。中学生も参加し、ボランティアの方も見えて余興を披露されている。民生委員の方、地域の方、ご家族も参加されている。小学校の運動会や産業祭にも積極的に参加されている。今後は介護教室を開催し、地域の方への介護技術や認知症について理解してもらえるような取り組みをしていきたいと、意欲を持たれている。 |       |  |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |  |   |       |  |
| 4                     | 7  | 評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 前回の外部評価後は改善計画シートを作成し、取り組み、今回の自己評価は職員一人一人が記入したものを管理者がまとめられた。自己評価に取り組んだことによって、職員が抱えているストレスに気づくことができた。又、改めて日々のケアの見直しの機会にもつながっている。  |       |  |
| 5                     | 8  | 運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1回開催されている。次回は1月に予定されている。議題などは事前に決めてあり、進行される。ご家族などから貴重な意見をいただくが、議事録には詳しい内容までの記載には至っていない。   |       | 議事録に意見の内容や発言者などを、より詳細に記載することによって、今後のホームの運営に反映されるような記録の方法の検討に期待したい。 |

グループホーム くにみの里

| 外部              | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|-----------------|----|---|--|-----|--|
| 6               | 9  | 市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 管理者は直接市町村との関わりはないが、社会福祉協議会の方や、地域包括支援センターの方とは、運営推進会議の際に会う機会がある。今後は認知症サポーターの取り組みなどを通して、市の方へ連絡をしてみ、との前向きな意向を示されている。 |     |  |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |   |  |     |  |
| 7               | 14 | 家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 月に1回便りを送付されている。その他には面会時にお話をしたり、ご家族の希望を考慮して1週間に1度や2週間に1度の頻度で電話連絡を行っている。   |     |  |
| 8               | 15 | 運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 玄関に意見箱を設置されているが、意見が入っていることはなく面会時や、電話連絡の際に話されている。運営やサービスに関するアンケートを作成されて回答を得られている。                                 |     | ご家族の感謝の気持ちや意見などは普段なかなか伝えられないこともあるために、請求書などを送付する際に「意見書」を数枚同封し、来訪時に意見箱へ入れてもらうなどの取り組みをされ、ご家族の意見や要望の吸い上げの工夫を検討されることを期待したい。 |
| 9               | 18 | 職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 管理者や職員は入居者のことを第一に考えられて、日々ケアに努められているが、異動や離職がでるのは否めない状態である。しかし、男性入居者のために男性職員を配置され、ケアが円滑に行われるような工夫がされている。           |     |  |
| 5. 人材の育成と支援     |    |   |  |     |  |
| 10              | 19 | 職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 新規職員が入職された時は、介護技術面について体験してもらい、技術向上を図られている。研修は休日を利用して参加しているが、休日を取りにくい人員体制でなかなか参加できていないのが現状であるが、職員は向上心を強く持たれている。   |     |  |
| 11              | 20 | 同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 島原市のケア研究会へ参加していたが、現在活動状況が不明であり、雲仙市のグループホーム連絡協議会へ参加されている。しかし最近の活動状況が不明であるために、管理者は再度連絡を取られると意向を示された。               |     |  |

| 外部                               | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|----------------------------------|----|--|--|-----|---|
| <b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>        |    |  |  |     |   |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応        |    |  |  |     |   |
| 12                               | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>入院先の病院から突然の利用となり本人がパニックをおこすケースがあったが、デイサービスからの入居の方は、事前にホームの見学に来られたり管理者はデイサービスへ赴き、事前に情報収集をされている。入居が決定してから1~2回は、事前に訪問を行い顔なじみになれるよう支援に努めたいと考えられている。</p> |     |   |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援        |    |  |  |     |   |
| 13                               | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>                      | <p>入居者と職員は「家族関係」「先輩後輩関係」と話され、敬意をもたれている。入居者から「ありがとう」「お疲れさま」などねぎらいの言葉をかけていただくときもあり、一つ屋根の下で共に暮らし、お互いに尊重し合っている姿勢が窺える。</p>                                  |     |   |
| <b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |  |  |     |   |
| 1. 一人ひとりの把握                      |    |  |  |     |   |
| 14                               | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>   | <p>申し送りノートや連絡ノートを活用し職員間で情報の共有を図られている。しかし、入居者の気持ちの部分の把握の記録が弱いように思われる。</p>   |     | <p>センター方式のシートC-1-2心身の情報[私の姿と気持ちシート]への取り組みを足がかりに入居者のそれぞれの思いを見つめ直し、ケアへ活かせる工夫への取り組みを期待したい。</p> |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し   |    |  |  |     |   |
| 15                               | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>        | <p>介護計画は入居後一週間後に居室担当がアセスメントを取り、介護計画書の原案を作成される。カンファレンスを行い職員で追加、検討を行い作成されている。</p>  |     |   |
| 16                               | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>    | <p>月1回のモニタリングをミーティング時に行っている。3ヶ月毎に見直しを行い、状態変化があらわれる入居者の方はその都度プランの見直しを行っている。個人記録は介護計画に添って記録されており、個別ファイルに整理されている。</p>                                     |     |   |

| 外部                          | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|-----------------------------|----|--|--|-----|---|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援           |    |  |  |     |   |
| 17                          | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                             | お墓参りやドライブ、買い物へ出かけられている。2～3ヶ月に一度、訪問美容を利用されている。男性入居者は、行きつけの理容院へ出かけられている。簡易ベッドが用意されており、ご家族が宿泊できるようになっている。 |     |   |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 |    |  |  |     |   |
| 18                          | 43 | かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | かかりつけ医への受診の支援をされている。月1回往診をされる医院もある。歯科の往診もあり、ホーム内で治療をされている。薬の受け渡しは、処方箋をFAXすると薬局の配達協力が得られる。              |     |   |
| 19                          | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 看取りに関する指針が出されているが、実際に看取りの経験はなく、今後もホームでの看取りは困難であると意識されている。ご家族や本人の意思確認がなく、書面で残す工夫もされていない。                |     | ホームでの看取りについては、ご家族と本人の意思の確認が必要であり、重度化の段階に応じた意思確認や同意が望まれる。また、看取りに関する知識や技術の向上が望まれる。現在、看取りが難しいと意識されているのであれば、書面の看取りの指針を改定し、ホーム全体としての「看取りに関する指針」の見直しの検討が望まれる。 |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援     |    |  |  |     |   |
| 1. その人らしい暮らしの支援             |    |  |  |     |   |
| (1) 一人ひとりの尊重                |    |  |  |     |   |
| 20                          | 50 | プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 前回の外部評価において、言葉かけの対応を話し合い期間を設けて改善に取り組み現在は、言葉かけに十分気を配られている。個人情報などの書類は事務所にまとめて保管されている。                    |     |   |
| 21                          | 52 | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 起床時間、就寝時間は入居者それぞれのペースを尊重されている。入居者の行動を制止することなく、寄り添い見守られている。着替えの支援についても本人に選んでもらい支援されている。                 |     |   |

| 外部                           | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | ( 印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|------------------------------|----|--|--|------|---|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |    |  |  |      |   |
| 22                           | 54 | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 食材の皮むきや配膳、下膳などそれぞれの能力に合った手伝いができるように支援されている。時には外食をしたり、出前を取ったりして食事を楽しませている。誕生会の際は本人が好きなものを提供されている。   |      |   |
| 23                           | 57 | 入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 1日おきの入浴を支援されている。午後か午前かは本人の希望に応じている。拒否があられる方は、翌日の入浴で対応されている。  |      |   |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |    |  |  |      |   |
| 24                           | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 誕生会は対象の方がある月に開かれている。編み物、工作、草むしりなど、その人その人が興味があられることを支援されている。訪問当日は、お天気が良く昼食後に日光浴を楽しみに外出されていた。  |      |   |
| 25                           | 61 | 日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                    | 日曜日は、デイサービスの車を利用して買い物へ出かけられている。散歩やドライブなどはその時々で支援されている。   |      |   |
| (4)安心と安全を支える支援               |    |  |  |      |   |
| 26                           | 66 | 鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 玄関のカギはかけず、チャイムで対応されている。それでも、職員が気づかないうちに外へ出られている時があり、向いにあるホームのA棟または、B棟から内線で知らせが入る。又、地域の方が里まつりに来られたときに入居者の顔を覚えてくださっており、地域の方が教えてくださることもある。外へ出られても入居者の気持ちを理解してしばらく付添い、タイミングを見て声をかけホームへ帰宅されている。 |      |   |
| 27                           | 71 | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 火災訓練は年に2回昼間設定、夜間設定で行われている。その際は消防署の立ち合いもあり、消火器の取り扱いの指導などもある。各居室には緊急時の連絡先が記載されたフローチャートを掲示しており、危機管理意識を持たれている。   |      | 地震、台風、新型インフルエンザの際の対策として3日分程度の食糧や水の備蓄、停電に対する備えや緊急用の顔写真入り入居者リストファイル作成なども意識され、緊急時について話し合う機会を設けられることを期待したい。 |

グループホーム くにみの里

| 外部                        | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|--|---|-----|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |  |   |     |                                   |
| 28                        | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 水分は1,000～1,200ccを目安とされている。献立は、同敷地内のホームとの3棟で1週間ごと作成されており、当ホームでは、7日分を職員で1日ずつ(内2日は管理者)作成している。食物繊維が多いものや、乳製品などを取り入れられている。食材の買い出しは週に3回行かれている。個人記録には水分摂取量や食事摂取量の記録もされている。 |     |                                   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり   |    |  |   |     |                                   |
| (1)居心地のよい環境づくり            |    |  |   |     |                                   |
| 29                        | 81 | 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | クリスマスが近いこともあり、ホーム内にはクリスマスの飾りが壁に貼られている。リビングは日当たりが良く、天井も高く、広々としている。畳の間やソファも配置されている。お正月の準備も始められていた。  |     |                                   |
| 30                        | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 全室トイレと洗面台が備えつけられている。使い慣れた筆筒を持ち込まれている方もいる。壁には行事の写真やご家族の写真が貼られている。その人らしさが伝わってくるような工夫がされている。   |     |                                   |